



A1 倶楽部

2019 新春号

【発行所】

さとう栄一
後援会総連合会

〒321-0954

栃木県宇都宮市元今泉5-1-22

TEL.028-662-3300

FAX.028-662-5501

住めば
愉快だ
宇都宮

UTSUNOMIYA

宇都宮から始まる未来都市づくり

新年、明けましておめでとうございます。
皆様には、日頃より何かとご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

昨年は、毎年恒例の漢字一文字が「災」でありましたように、北海道胆振東部地震や各地域でのゲリラ豪雨、大型台風による被害、そして記録的な猛暑など災害が多い一年でありました。宇都宮市では幸い大きな被害はなく、災害の少ない安全な地域であると再認識いたしました。また、本市ではLRTの着工やJR宇都宮駅東口地区の整備に向けた事業で優先交渉権者が決定しました。更には大谷石文化が日本遺産に認定され、大谷地区では採掘場跡の巨大空間を生かした観光拠点づくりなどにも追い風となりました。年末には日経DUAL×日本経済新聞社の「自治体の子育て支援制度に関する調査」において共働き子育てしやすい街ランキングで宇都宮市が全国1位に選ばれました。

本年は、3×3ワールドツアーフアイナルが宇都宮で11月に開催されます。テクノポリスセンター地区に新設の小学校が着工し2021年に開校を予定。大谷地区では観光施設の開発許可基準を緩和するなど、民間機能の立地誘導を図り、飲食店や物産店などの出店が相次ぎ、ろまんちっく村にはフェアフィールド・バイ・マリOTT（宿泊施設）も2020年頃に開業を予定しています。少子・超高齢社会を迎え人口の減少が始まります。様々な分野で高い評価をいただいておりますが、今後も激変する社会環境の中、柔軟かつ的確に課題に取り組み「未来都市うつのみや」の実現に向けて粉骨碎身の覚悟で頑張っております。

本年は、新たな年号が始まる年でもあり、本市にとりましても新たな一歩を歩み始める重要な年になります。皆様におかれましても大きな飛躍の一年になりますよう祈念申し上げます。

宇都宮市長 佐藤栄一

JR宇都宮駅東口地区整備事業・2022年の開業へ

宇都宮市は1月21日にJR宇都宮駅東口地区整備事業の優先交渉権者である「うつのみやシンフォニー」（代表企業・野村不動産）と事業契約を結んだ。LRTとの一体感がある県都の玄関口にふさわしい拠点を形成する。コンベンション施設・高度専門病院・マンション・タイの五つ星ホテル「デュシタニ」が進出する、高さ約120mの県内最高層となる複合施設などを整備する。



宇都宮が日本のモデル都市へ



マンションは野村不動産の高級ブランド「プラウド」が北関東に初めて建設される。15階建てで、110戸程度となる。



コンベンション施設の中ホールは700人収容で、音響機器や照明装置を設置し、音楽イベントなど多様な催事が開催されるようになる。



コンベンション施設の大ホールは2,000人収容で、国際会議や学会・展示会などが開催できるようになる。

未来に向けて宇都宮が

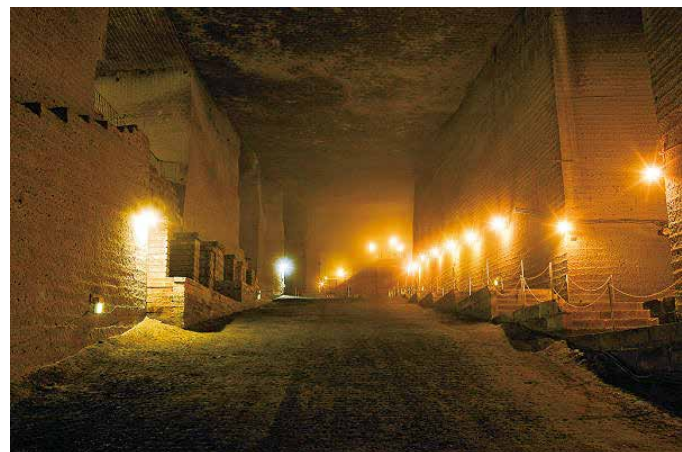
大谷石文化が日本遺産に認定

宇都宮市を代表する歴史文化資源である「大谷石」を核とするストーリーが、平成30年度の国の「日本遺産」に認定された。大谷地域の奇岩群など特異な景観や地下採掘場跡の神秘的な魅力、掘り出した石をまちづくりや暮らしに身近に活用してきたことなど、大谷石と共に生き続けていく本市独自の文化が、全国的にも他に例を見ない貴重な文化であると評価された。佐藤市長は「大谷石文化を守り育んできた方々と一体となり、その魅力を国内外に発信する」と話した。



ろまんちっく村に宿泊施設

宇都宮市のろまんちっく村の一角にフェアフィールド・バイ・マリオットが開業を予定している。このホテルは87室の宿泊特化型のため、飲食はろまんちっく村や大谷地域での消費が期待できる。佐藤市長は「観光振興の大きな起爆剤になる」と話した。



大谷地区観光拠点へ規制緩和

佐藤市長は、宇都宮市を代表する観光地、大谷地域の振興方針を策定し発表した。

特色に応じて三つのエリアを設ける。具体的には
①センターコアは旧大谷公会堂の移設や広場設備などの観光拠点機能を形成する。
②体験・滞在コアは地形を生かした体験型観光の充実を図る。
③エネルギーコアは採掘場跡に溜まっている冷水の活用や大谷夏いちごの産地化を目指す。
更には観光施設の開発許可基準を緩和し、宿泊施設や飲食店の立地誘導を目指す。佐藤市長は「地域全体の発展に取り組み、世界に誇れる観光地・大谷を実現していく」と話した。

LRT整備がはじまる

昨年5月28日に、LRTの発着点となるJR宇都宮駅東側の駅前広場において、「芳賀・宇都宮LRT起工式」を開催。その中で佐藤市長は、「新たな都市の価値と魅力を高めていくことができる」と期待を述べるとともに、来賓の皆さまと鉄入れを行い、工事の着工を宣言した。現在、2022年の開業に向け整備を進めている。



LRT事業への期待で地価上昇

県が昨年に公表した県内基準地価で、宇都宮市の商業地は、27年ぶりに全25地点で上昇または横ばいとなり、下落地点はなくなった。特にJR宇都宮駅東口エリアはLRT事業と再開業事業への期待感などから顕著な伸びを見せ、今後も商業地として人気が高まりそうである。

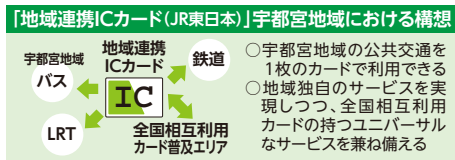
車両デザインを公表

車両デザインの選定に当たり、「雷の光」を表す黄色のシンボルカラーをあしらったデザインを3案作成し、アンケートを実施した。市内外から16804票が寄せられ、最も多くの7449票を集めたA案に決定。佐藤市長は、「LRTが新たなシンボルとして未来に大きな実りをもたらす公共交通になるよう取り組み」と決意を示した。



公共交通を1枚のICカードで

宇都宮ICカード導入検討協議会は、LRT・鉄道・バスを1枚の交通ICカードで利用できるよう検討している。2021年春の供用開始を目指す。佐藤市長は「地域の公共交通が1枚のICカードで利用できるようになり、本市の公共交通ネットワークの利便性が大きく向上する」と話した。



駅東口整備 LRT 大谷観光 で変わる

3×3のクラブ世界一決定最終戦を誘致

佐藤市長は昨年の8月に3×3クラブチーム世界一決定最終戦である「FIBA A3×3ワールドツアーファイナル」誘致のためにFIBA本部があるスイスを訪問した。昨年11月30日にはFIBAが宇都宮市を訪れ市役所で記者会見し、今年の「ファイナル」を宇都宮市で開催することを発表した。アレックス・サンチェス統括ディレクターは「宇都宮の大会は世界でもいい見本。ファイナル開催のチェックリストをすべて満たしている」と期待を寄せた。

一都内で企業立地セミナー

宇都宮市は、市内進出に関心のある企業などを対象に都内で企業立地セミナーを開催した。佐藤市長はプレゼンで「住みよさランキング」は5年連続1位であり、共働き子育てしやすい生活環境の充実などを紹介した。また、全国的に見て人口構造が若く、フレキシブルな労働力が豊富なことや、駅東口整備事業の概要なども紹介し、企業にPRした。

一農産物の販路拡大へ

宇都宮市は、「農産物の販路拡大を通じて都市間交流によるブランド強化」に向け、沖縄との連携を進めており、佐藤市長は、「洋菓子協会やリゾートホテルへ」「大谷夏いちご」を売り込み、継続取引につなげたほか、市内地域商社と連携し、うるま市の協力を得て、沖縄県最大級の食の市場「うるマルシェ」との交流を開始。1月には現地で宇都宮フェアが開催され、本市農産物の販売促進PRが行われた。



餃子通りが誕生

昨年の4月、餃子店が集中する宮島町に『餃子通り』が誕生した。休日には人気店に観光客の行列ができるなど、にぎわっている。また昨年のJR東日本の交通ICカードで新幹線乗車が可能になるCMは宇都宮の餃子店が選ばれた。



餃子スポーツ開発



佐藤栄一が市長に就任した頃はシャッター通りが目立っていたが、現在はオリオン通りを中心に飲食店が増えてきており、特に週末の夜にはにぎわいを取り戻している。

大手地区再開発が完成へ

大手地区再開発事業が完成した。地上108m、31階建ての県内最高層のタワーマンション「宇都宮PEAKS」は、販売から数カ月で完売した。低層階に商業施設を備えており、都心居住の推進とまちなかのにぎわい創出に大きく貢献してくれるものと期待している。



今、まちなかが餃子スポーツで盛り上がっている



大通りで世界レベルのロードレース

昨年の10月20日に「ジャパンカップクリテリウム」が開催された。大通りには5万人の観客が詰め掛け、世界トップレベルの選手たちのハイスピードバトルに熱狂した。レースはトレック・セガフレードのジョン・デゲンコルプ選手が接戦をものにし、初優勝を飾った。今年のクリテリウムは10回目の節目を迎える年になるので特別なレースになりそうだ。

3×3ワールドツアーマスターズを開催

昨年の7月28・29日にFIBA 3×3ワールドツアーアウツのみやマスターズが二荒山神社前のバンバ広場で行われた。台風が近づく悪天候をものともせず、約6万7千人の観客が会場を盛り上げた。3年連続3回目の開催で、世界レベルの白熱した試合や宇都宮ならではの演出に絶賛の声が届いた。

オリオンスクエアが全面屋根に

まちなかのイベント広場「オリオンスクエア」が2020年までに全面屋根に広がる。現在の屋根は6割ほどで、土日は予約がとれない状況になり、市民や主催者から「雨や日差しを防げるように」という声に応じて全天候型の全面屋根に変わる。これからオリオンスクエアの稼働率を更に上げることに、まちなかのにぎわい期待がもてる。

活動報告

6/8 A1 club 総会

6/16 A1 club ゴルフコンペ

10/27 さとう栄一後援会 総連合会 ゴルフコンペ

11/3 さとう栄一市長を囲む 女性の集い

佐藤市長が園遊会に招待されました



昨年の4月25日、赤坂御苑にて開催された園遊会に参加した。当日は2月の平昌冬季五輪のメダリストが勢ぞろいし、花を添えた。

「キスできる餃子」上映会で舞台挨拶



餃子のまち宇都宮を舞台にした映画「キスできる餃子」の舞台挨拶が6月17日に行われた。佐藤市長は「映画を通して宇都宮の財産をPRしてもらった」と感謝を述べた。

城山西小学校の物語が映画化



少子化によって小学校が廃校や統合されている現在、城山西小学校では、廃校の危機を乗り越えた「奇跡の小学校の物語」が地域の皆様の協力で映画化された。